事務事業評価シート　令和　1　年度事後評価・決算

令和　3　年　2　月　22　日時点

所管課	生涯学習課	担当班	社会教育施設班

事務事業名	コード	41200	海上公民館活動費	予算科目	会計	款	項	目
		①	（海上公民館活動費）（講座）		一般	10	4	7
施策体系	基本施策	12	生涯学習の充実	根拠法令	社会教育法、旭市公民館の設置及び管理に関する条例、規則			
	施策の展開	23	生涯学習機会の充実	戦略事業	122	生涯学習施設活動費		
	施策の展開	24	生涯学習関連施設の充実	戦略事業	123	生涯学習講座の開催		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間

☑ 単年度繰返
- ☑ 昭和 56 年度～
- ☐ 開始年度不詳

☐ 期間限定複数年度
- 平成 ＿ 年度～
- 令和 ＿ 年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

市民一人ひとりが、自ら学び自ら行動し、より良い生活や自己向上を高めるために、様々な学習機会を提供する事業。
①各種講座・教室の開催：水彩画、ヨガ、陶芸、琴など。通年コースが多い。月1～2回2時間。定員15～50人程度
②イベントの開催（海上公民館まつりなど）。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状

社会教育法21条を根拠とし、昭和56年に事業開始。主に市主催の定期講座、一般サークルへの貸館、図書の貸出を行っている。

④事務事業に関する課題・環境の変化

開始当初は、他団体・民間等で同様の事業を行っている団体は少なかったが、最近は趣味的な内容の事業を他団体でも実施している。また、住民層の学習意欲や社会意識の多様化により、多人数構成の講座には無理が生じている。

⑤事務事業に対する住民からの意見等

・利用者アンケートでは「ほぼ満足している」方が多い。
・講座受講者から、マンネリ化している講座の見直しをして欲しいとの意見あり　・利用者アンケートでは「地元の公共施設として無くてはならない身近な施設として不可欠である」との意見が他地域に比べて多い。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（1年度の決算）　単位：千円

1.報酬	144	公民館運営審議会委員報酬
2.報償費	1,043	講座等講師謝礼
3.需用費	1,242	消耗品、印刷製本費、燃料費
4.役務費	439	通信運搬費（郵送）、手数料（振込）、保険料
5.その他	33	使用料、負担金、旅費、備品購入費

② 特定財源の内訳（1年度の決算）　単位：千円

1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他		

前年度増減理由	消耗品費の増

		単位	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 報酬	千円	132	144	108	144	234
	2. 報償費	千円	1,090	1,225	950	1,043	1,247
	3. 需用費	千円	1,125	1,190	1,098	1,242	1,315
	4. 役務費	千円	478	494	505	439	522
	5. その他	千円	202	36	27	33	134
事業費計（A）		千円	3,027	3,089	2,688	2,901	3,452
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	3,027	3,089	2,688	2,901	3,452

従事職員数	常時	4 人	最大	8 人	×	1 日	＝	延べ	8 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

1年度実績（1年度に行った主な活動）

公民館だより等により講座の募集・啓発活動
講座の内容を精査・検討

	③ 活動指標名	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（計画）
ア	講座等開設数	講座	34	32	27	25	28
イ							

目的

② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）

対象	・市民
意図	・講座に参加し知識を身に付け、教養を高め、生きがいを見つける
対象	
意図	

	④ 成果指標名	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（計画）
ア	講座等（主催事業）参加人数（延べ人数）	人	6,230	8,103	6,866	6,403	6,700
イ	生涯学習講座受講者数（実人数）	人	700	523	542	544	540

(4)事務事業優先度評価の結果

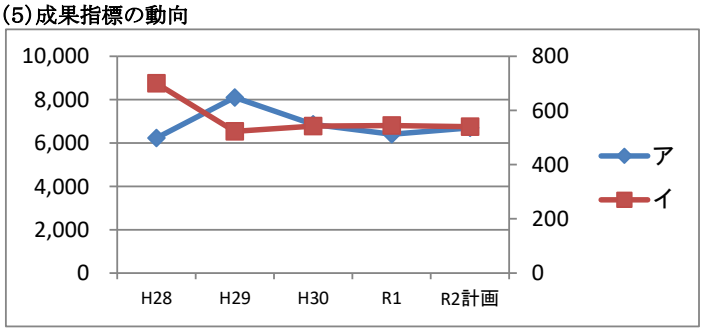
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果 成果優先度	①			
	②③	(2)		
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況
☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】
（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標ア	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下
成果指標イ		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下

【コメント】
（低下の場合、その理由）

成果動向	比較	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度
		28年度	29年度	30年度	1年度	2計画
	ア	△673	1,873	△1,237	△463	297
	イ	△19	△177	19	2	△4

③ 今年度取組事項
（2年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
令和2年度中	新規講座の検討 公民館だより等の啓発活動の工夫

今後の方向性
☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し
☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）

令和2年度　新講座を実施するなど講座生の充実を図る。